

第4次愛西市行政改革大綱の策定について

1 これまでの経過

- ◆愛西市行政改革大綱（計画期間：平成18年度～平成29年度 12年間）
 - ・持続可能で安定的な行財政運営
 - ・市民起点・市民本位の改革と職員の全直的な意識の共有化
 - ・行財政の仕組み変革
- ◆第2次愛西市行政改革大綱（計画期間：平成30年度～令和3年度 4年間）
 - ・地域や民間の力の結集
 - ・行政の経営資源の最大限の活用
 - ・事務事業の積極的な見直しと財政健全化
- ◆第3次愛西市行政改革大綱（計画期間：令和4年度～令和7年度 4年間）
 - ・地域や民間の力の結集
 - ・行政の経営資源の最大限の活用
 - ・事務事業の積極的な見直しと財政健全化
 - ・時代の変化に対応したスマート自治体への転換

2 第4次愛西市行政改革大綱

（1）計画期間

令和8年度～令和11年度（4年間）

（2）視点

ア 財政健全化の視点

確実な財源確保に努め、限りある財源の適切な配分と、事務・事業の効率的な実施による経費の縮減を図り、健全で持続可能な財政運営に取り組みます。

イ ひとづくりの視点

多様化・専門化する行政需要や社会環境の変化などによる行政課題に迅速かつ適切に対応するため、組織・機構の見直しの推進と、人材の育成・確保に努めるとともに職員のワークライフバランスを実現し、活力あふれる職場環境の推進に取り組みます。

ウ DX推進の視点

働き手の減少により業務が急務になってきたことなど、社会がもつデジタル化に対する意識（ニーズ）の変化に対応するため、ペーパーレスの推進などの業務の在り方や行政手続きのオンライン化の推進など、デジタル技術の活用に取り組みます。